

みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 2020年7月～9月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

2020年7～9月期の業況/2020年10～12月期の業況予想

今回の調査実施時期

2020年9月上旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡(事業所215先)

調査先業種内訳

製造業	31先	小売業	60先
卸売業	25先	サービス業	60先
建設業	22先	不動産業	17先

調査方法

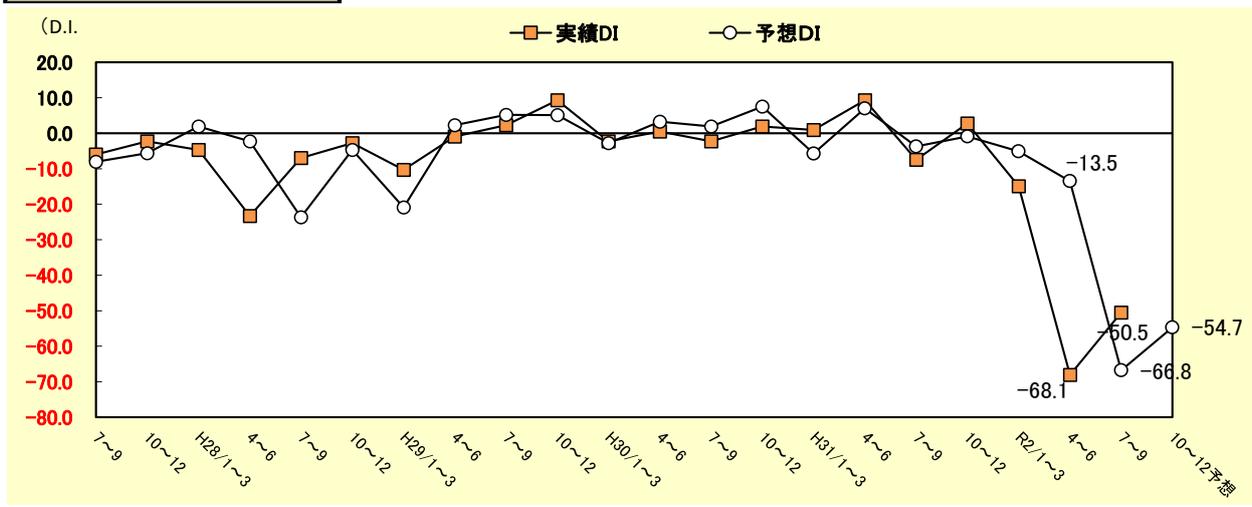
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



業種別天気図

表の見方



	7~9月期実績				10~12月期予想			
	総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総合	▲50.5	▲60.4	▲43.4	▲42.5	▲54.7	▲63.7	▲47.0	▲50.0
製造業	▲64.5	▲75.0	▲40.0	▲60.0	▲67.7	▲81.2	▲60.0	▲50.0
小売業	▲38.3	▲65.3	▲23.0	0.0	▲36.6	▲57.6	▲23.0	▲12.5
卸売業	▲52.0	▲33.3	▲70.0	▲50.0	▲68.0	▲66.6	▲70.0	▲66.6
サービス業	▲71.1	▲82.1	▲59.2	▲75.0	▲72.8	▲78.5	▲66.6	▲75.0
建設業	▲27.2	0.0	▲33.3	▲37.5	▲31.8	▲20.0	▲33.3	▲37.5
不動産業	▲23.5	0.0	▲33.3	▲50.0	▲41.1	▲14.2	▲33.3	▲100.0

7月～9月の県内経済概況

2020年7月～9月の調査地域全域における企業の景況感を示す総合業況DIは▲50.5となり、前期比17.6ポイント上昇となっています。

業種別の状況を見ると、製造業は▲64.5となり、前期比15.5ポイント上昇、小売業は▲38.3となり、前期比35.0ポイント上昇、卸売業は▲52.0となり、前期比23.0ポイント上昇、サービス業は▲71.1となり、前期比5.5ポイント上昇、建設業は▲27.2となり、前期比4.5ポイント下降、不動産業は▲23.5となり、前期比23.5ポイント上昇となっています。

地域別では、別府市が▲60.4となり、前期比12.6ポイント上昇、大分地区が▲43.4となり、前期比23.3ポイント上昇、県北地区が▲42.5となり、前期比17.5ポイント上昇となっています。

業種別景況

製造業

● 当期(7月～9月)の景況

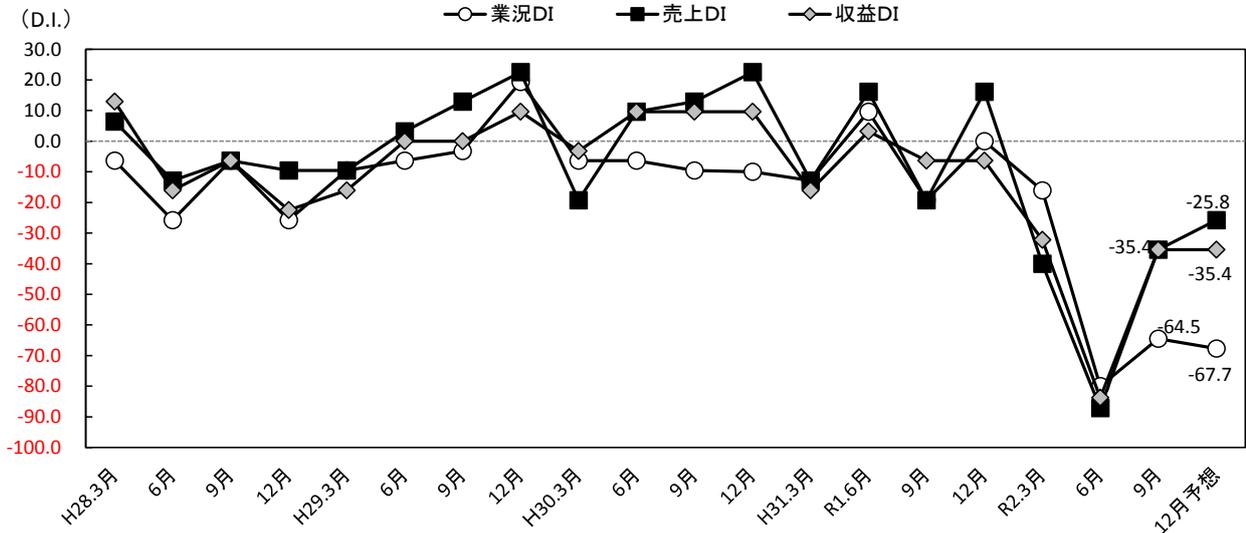
全域における業況DIは▲64.5となり、前期比15.5ポイント上昇、前年同期比45.2ポイント下降となっています。売上DIは▲35.4となり、前期比51.6ポイント上昇、前年同期比16.1ポイント下降となっています。収益DIは▲35.4となり、前期比48.4ポイント上昇、前年同期比29.0ポイント下降となっています

地域別の業況DIでは、別府地区が▲75.0となり、前期比11.6ポイント上昇、前年同期比31.3ポイント下降、大分地区が▲40.0となり、前期比40.0ポイント上昇、前年同期比40.0ポイント下降、県北地区が▲60.0となり、前期比10.0ポイント上昇、前年同期比70.0ポイント下降となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは▲67.7となり、今期比3.2ポイント下降となっています。売上予想DIは▲25.8となり、今期比9.6ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲35.4となり、今期と同水準となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲81.2、大分地区が▲60.0、県北地区が▲50.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	30.3%
同業者間の競争激化	19.6%
地場産業衰退	9.0%
利幅の縮小	6.0%
大手企業との競争激化	4.5%

最重要経営施策

販路拡大	33.3%
経費節減	20.2%
新製品・技術開発	8.6%
情報力強化	7.2%
人材確保	7.2%

経営者のみなさまの主なコメント

- 自動車関連でありコロナウイルスの影響は大きい。(自動車部品)
- コロナウイルスの影響で旅館などからの注文が減少したため売り上げも減少している。(竹製品)
- 後継者不足のため事業譲渡を模索中。(パン・菓子)
- 学校関係にも取引があるが、取引量は減少しつつある。技術力や納期に間に合わせる信用力はあるため今後は営業に力を入れ、広く取引先の拡大に努める方向でセールスを行う計画である。(木製品)
- 新型コロナウイルスの影響を大きく受けており、資金繰りも非常に厳しい。金融機関での借入れも検討しており、今後新型コロナウイルスの影響が続けばさらに厳しいと予想される。(漬物)
- 依然としてコロナウイルスの影響が続いている。回復の見通しも立たないことから10月～12月も売り上げ等減少する見込みである。(ざぼん漬)
- コロナウイルスの影響によりホテルでの販売が激減している。(つけ工芸)
- 新型コロナウイルスの影響で受注が減少した。7月は若干ではあるが受注が増えている。(竹製品)

小 売 業

● 当期(7月～9月)の景況

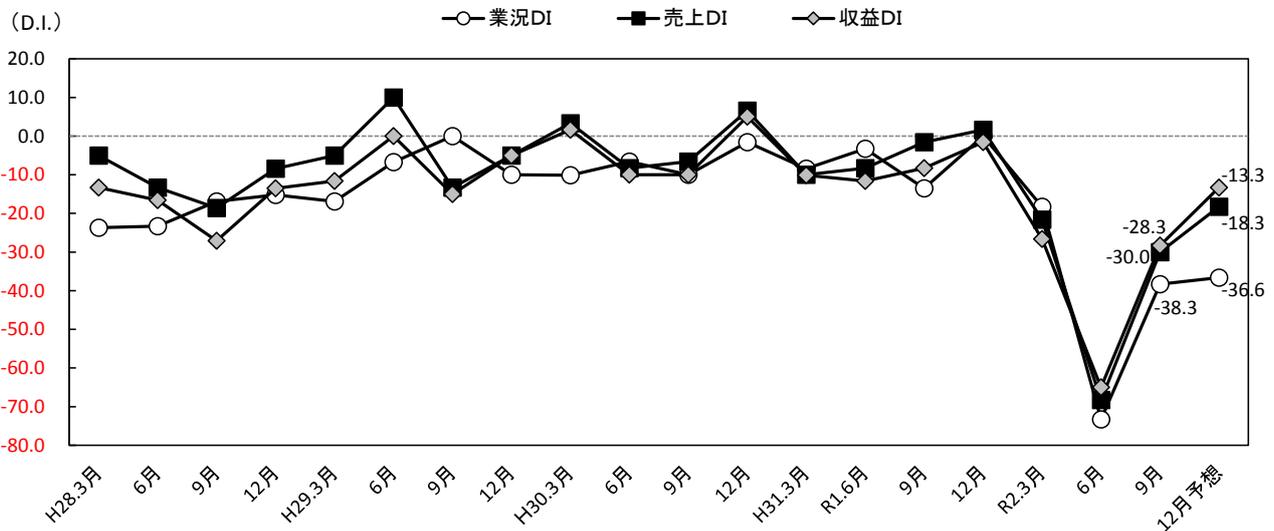
全域における業況DIは▲38.3となり、前期比35.0ポイント上昇、前年同期比24.8ポイント下降となっています。売上DIは▲30.0となり、前期比38.3ポイント上昇、前年同期比28.4ポイント下降となっています。収益DIは▲28.3となり、前期比36.7ポイント上昇、前年同期比20.0ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲65.3となり、前期比15.4ポイント上昇、前年同期比53.3ポイント下降、大分地区が▲23.0となり、前期比50.0ポイント上昇、前年同期比7.7ポイント下降、県北地区が0.0となり、前期比50.0ポイント上昇、前年同期比12.5ポイント上昇となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは▲36.6となり、今期比1.7ポイント上昇となっています。売上予想DIは▲18.3となり、今期比11.7ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲13.3となり、今期比15.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲57.6、大分地区が▲23.0、県北地区が▲12.5となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	26.8%
同業者間の競争激化	13.7%
大型店競争激化	13.0%
利幅縮小	6.5%
人手不足	5.7%

最重要経営施策

経費節減	64.0%
品揃え改善	32.0%
宣伝・広告強化	28.0%
売筋商品取扱	28.0%
特になし	14.0%

経営者のみなさまの主なコメント

- 店頭販売のほかに社長自ら配達に回ることがもともと多かった。コロナウイルスからの事業ダメージはあまりない。(飲食料品)
- 春は緊急事態宣言の影響で売り上げが減少したが、7月以降は猛暑の関係でエアコンの売上が急増した。今後の先行きは不透明だが猛暑が続く限りは忙しそうだ。(家電製品)
- 冠婚葬祭などの注文が減少したため売上も減少。(花)
- 新型コロナウイルスの影響により売上は減少傾向にある。家具のレンタル部門は成長部門であり、学生や独身者を中心に売上は増加している。(家具)
- イベント中止や延期に伴い生花の需要は低迷。今後も売り上げの低迷は続く予想。(生花)
- 新型コロナウイルスの影響により、主要取引先である飲食店への納入が大きく落ち込んでおり、売上は減少している。(米穀食品・酒類)
- 新型コロナウイルスの影響で売上の減少傾向が続いている。収束の見通しは立たないため大変厳しい状況が続いている。(自動車・バイク)
- 主な取引先である旅館ホテルが、現在新型コロナウイルスの影響が大きいため厳しい状況が続いている。ウイルスが収束しなければ新規顧客を見つけていく等の改善が必要。(米)
- インターネット、電子書籍の普及により年々販売部数は減少傾向にある。また、新型コロナウイルス感染拡大により人通りが減少にある。(書籍)
- 旅館、葬儀社等の主要取引先からの仕入れが新型コロナウイルスの影響で減少したことによりダメージを受けている。(お茶)

卸 売 業

● 当期(7月～9月)の景況

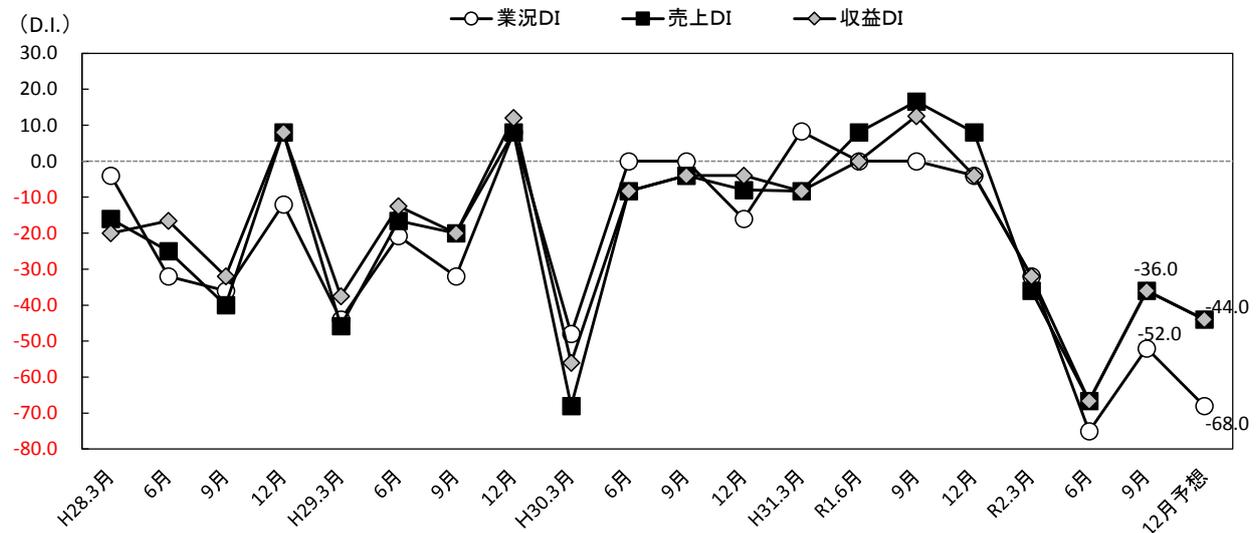
全域における業況DIは▲52.0となり、前期比23.0ポイント上昇、前年同期比52.0ポイント下降となっています。売上DIは▲36.0となり、前期比30.6ポイント上昇、前年同期比52.6ポイント下降となっています。収益DIは▲36.0となり、前期比30.6ポイント上昇、前年同期比48.5ポイント下降となっています

地域別の業況DIでは、別府地区が▲33.3となり、前期比41.7ポイント上昇、前年同期比33.3ポイント下降、大分地区が▲70.0となり、前期比20.0ポイント上昇、前年同期比60.0ポイント下降、県北地区が▲50.0となり、前期と同水準、前年同期比70.0ポイント下降となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは▲68.0となり、今期比16.0ポイント下降となっています。売上予想DIは▲44.0となり、今期比8.0ポイント下降となっています。収益予想DIは▲44.0となり、今期比8.0ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲66.6、大分地区が▲70.0、県北地区が▲66.6となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	25.8%
同業者間の競争激化	20.6%
利幅縮小	10.3%
販売納入先からの値下要請	6.8%
取引先減少	5.1%

最重要経営施策

販路拡大	36.0%
経費節減	26.0%
情報力強化	10.0%
品揃えの充実化	10.0%
流通経路見直し	4.0%

経営者のみなさまの主なコメント

- 新型コロナウイルスの影響で建築業界全体の景気が悪い。今のところ内部留保やコロナ対策融資金などで当面は様子を見ている。(建築資材)
- 近年の温暖化などによりちりめんの生産量が減少している。(ちりめん)
- コロナウイルスの影響により売上・利益大幅減少。今後は規模を縮小して事業を行う予定。(土産品)
- 新型コロナウイルスの影響はゼロではないが少なからず受けている。仕入れ先にキャンセル依頼することはないが卸先に卸す数は若干低下している。新型コロナウイルスが続けば業況も落ち込む可能性がある。(竹製品)
- 新型コロナウイルスの影響は多少受けている。仕入れ値の値上げや送料の増加によりコストがかかっている。新型コロナウイルスの影響が長引けばさらに売上等の低下も見込まれる。(竹製品)
- 取引先は多く、個々取引先別に見れば、納入額が減った先も増えた先もあり、総じて納入額は増えた。(建築資材)
- 新型コロナウイルスの影響でホテル旅館等への売上は大幅に減少したが、スーパーマーケットの売上は、前年より増加している。(海産物)

サービス業

● 当期(7月～9月)の景況

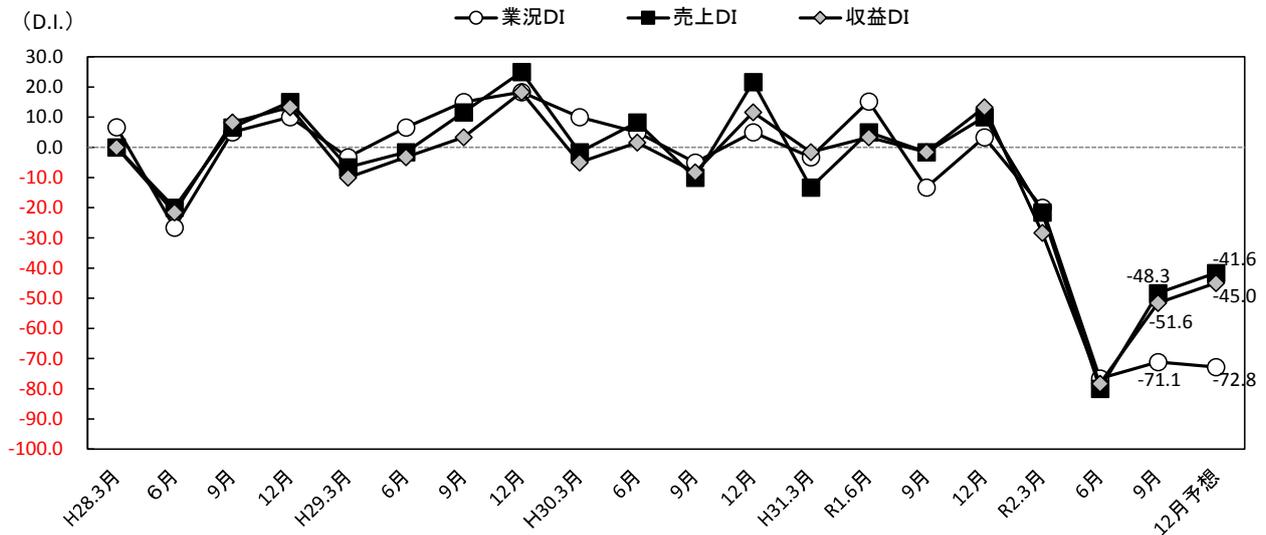
全域における業況DIは▲71.1となり、前期比5.5ポイント上昇、前年同期比57.8ポイント下降となっています。売上DIは▲48.3となり、前期比31.7ポイント上昇、前年同期比46.7ポイント下降となっています。収益DIは▲51.6となり、前期比26.7ポイント上昇、前年同期比50.0ポイント下降となっています

地域別の業況DIでは、別府地区が▲82.1となり、前期比3.6ポイント上昇、前年同期比53.6ポイント下降、大分地区が▲59.2となり、前期比5.0ポイント上昇、前年同期比59.2ポイント下降、県北地区が▲75.0となり、前期比25.0ポイント上昇、前年同期比75.0ポイント下降となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは▲72.8となり、今期比1.7ポイント下降となっています。売上予想DIは▲41.6となり、今期比6.7ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲45.0となり、今期比6.6ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲78.5、大分地区が▲66.6、県北地区が▲75.0となっています。



経営上の問題点

売上停滞・減少	27.5%
同業者間の競争激化	16.6%
店舗・設備狭小・老朽化	8.3%
その他	6.6%
利幅縮小	5.8%

最重要経営施策

販路拡大	21.9%
宣伝・広告強化	21.0%
経費節減	20.1%
提携先探す	7.0%
人材確保	6.1%

経営者のみなさまの主なコメント

- コロナウイルスの影響で会議等に出席するサラリーマンが減少しスーツをクリーニングに出す人が減っている。今後事業をどうするかは具体的に考えていない。(クリーニング)
- 新型コロナウイルスの影響により受注先ホテル旅館が大きなダメージを受けており、当社の売上も戻ってない。(ビルメンテナンス)
- ドライブスルーの飲食部門は好調。店舗部門の売上は減少し回復は十分に見込めていない。総合的には、売上は減少傾向にあり、コロナウイルスの影響は大きい。(飲食業)
- 新型コロナウイルスの影響で売上高が大きく落ち込んでいる。売上高増加のために営業活動を行う。(ドライブイン)
- Go Toトラベルキャンペーン開始後、予約数は増加。別府市独自の“鬼割”キャンペーンの恩恵も受け、忙しいが通常の単価が下がるため利幅は減少。(宿泊業)
- 新型コロナウイルスの影響で4～6月の3か月間の売上は大幅に減少。7月は若干持ちなおしてきている。(クリーニング)
- 県外・市外からの顧客が多く、コロナウイルスの感染拡大を受け、売上に大きなダメージを受けている。直接、体と体が接触する業種であるため感染防磁策をとるのが困難。(整体)
- 常連の地元客でコロナウイルスの影響を受けたが、少しずつ戻ってきている。これから2波3波となるとまた売上に影響して行く可能性がある。(美容室)
- コロナ禍で売上が前年より70%程減少。(宿泊業)
- コロナウイルスの影響により来客数が減少。今後も長引くと予想されるためコンサルと連携して新たな集客戦力の立案を検討。(宿泊業)

建設業

● 当期(7月～9月)の景況

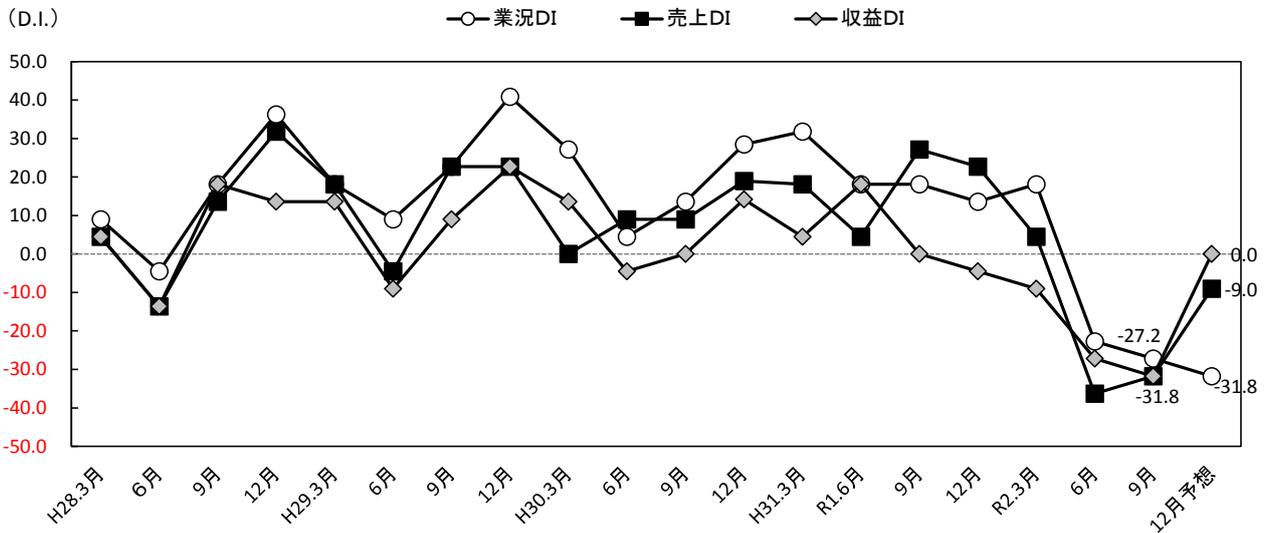
全域における業況DIは▲27.2となり、前期比4.5ポイント下降、前年同期比45.3ポイント下降となっています。売上DIは▲31.8となり、前期比4.5ポイント上昇、前年同期比59.0ポイント下降となっています。収益DIは▲31.8となり、前期比4.6ポイント下降、前年同期比31.8ポイント下降となっています

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比20.0ポイント下降、前年同期比60.0ポイント下降、大分地区が▲33.3となり、前期比11.1ポイント下降、前年同期比55.5ポイント下降、県北地区が▲37.5となり、前期比12.5ポイント上昇、前年同期比25.0ポイント下降となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは▲31.8となり、今期比4.6ポイント下降となっています。売上予想DIは▲9.0となり、今期比22.8ポイント上昇となっています。収益予想DIは0.0となり、今期比31.8ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲20.0、大分地区が▲33.3、県北地区が▲37.5となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	21.1%
利幅縮小	17.3%
売上停滞・減少	9.6%
人手不足	9.6%
材料価格の上昇	9.6%

最重要経営施策

人材確保	24.0%
経費節減	22.0%
販路拡大	20.0%
情報力強化	16.0%
技術力向上	8.0%

経営者のみなさまの主なコメント

- 個人宅のリフォーム等をメインにしているが新型コロナウイルスの影響で受注が停滞気味。(建設業・不動産業)
- コロナウイルスの影響はそれほどない。例年並みで推移している。(建設業)
- 新型コロナウイルスの影響が徐々に出ており、業況の回復も見通せない。(建設工事業)
- 新型コロナウイルスの影響により、主にトイレや洗面台などの部品入荷が遅れており、それに伴い工期が遅れている。部品の調達・調達方法の見直しが必要。(一般土木建築工事業)
- 材料仕入れ等でコロナの影響あり。(屋根工事)

不動産業

● 当期(7月～9月)の景況

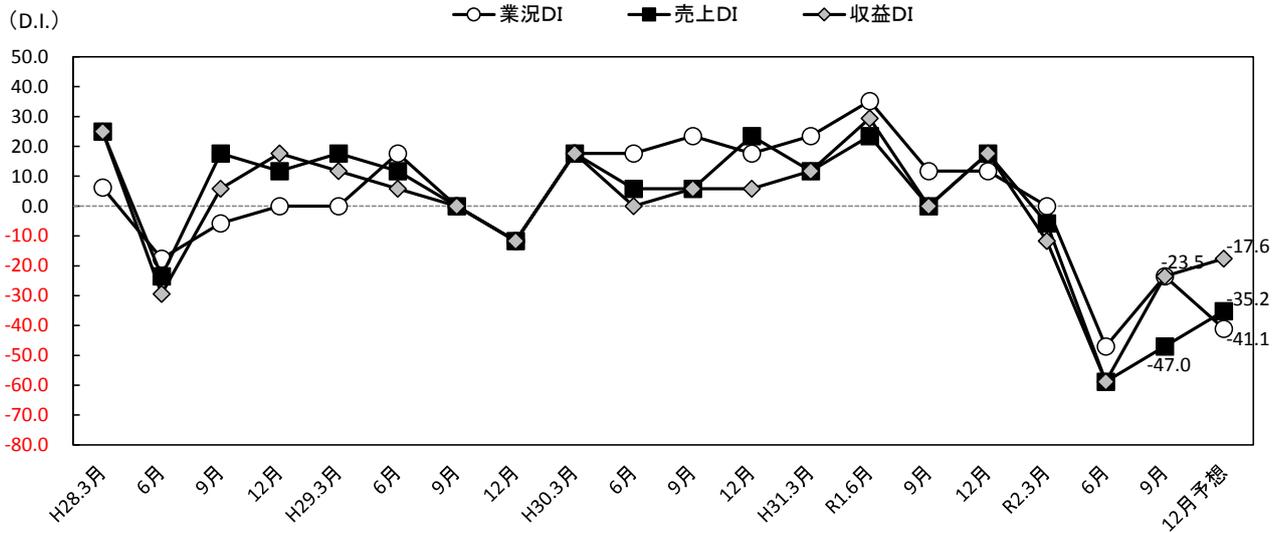
全域における業況DIは▲23.5となり、前期比23.5ポイント上昇、前年同期比35.2ポイント下降となっています。売上DIは▲47.0となり、前期比11.8ポイント上昇、前年同期比47.0ポイント下降となっています。収益DIは▲23.5となり、前期比35.3ポイント上昇、前年同期比23.5ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比28.5ポイント上昇、前年同期と同水準、大分地区が▲33.3となり、前期比33.3ポイント上昇、前年同期比49.9ポイント下降、県北地区が▲50.0となり、前期と同水準、前年同期比75.0ポイント下降となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは▲41.1となり、今期比17.6ポイント下降となっています。売上予想DIは▲35.2となり、今期比11.8ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲17.6となり、今期比5.9ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲14.2、大分地区が▲33.3、県北地区が▲100.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	23.5%
売上停滞・減少	23.5%
利幅縮小	14.7%
商品物件不足	5.8%
人手不足	5.8%

最重要経営施策

情報力強化	23.5%
宣伝・広告強化	20.5%
経費節減	14.7%
不動産の有効活用	14.7%
特になし	11.7%

経営者のみなさまの主なコメント

- コロナウイルスにより不動産情報が減少。現状の資金繰りは問題ないが、長引けば影響が出てくる。(不動産売買)
- 建売住宅の販売数は例年並みに推移し、7～9月は増加傾向にある。特にコロナウイルスの影響なし。(建売販売)
- コロナの流行以後、従業員の削減等を行っておらず、これからも行うつもりはないが、時短営業の取り組みを行っている。営業時間を17時から15時に短縮している。(不動産仲介業)
- 収益性不動産について、物件の絶対数が不足している。(不動産業)

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	7月～9月実績	△ 50.5	△ 64.5	△ 38.3	△ 52.0	△ 71.1	△ 27.2	△ 23.5
	10月～12月予想	△ 54.7	△ 67.7	△ 36.6	△ 68.0	△ 72.8	△ 31.8	△ 41.1
売上	7月～9月実績	△ 38.1	△ 35.4	△ 30.0	△ 36.0	△ 48.3	△ 31.8	△ 47.0
	10月～12月予想	△ 29.3	△ 25.8	△ 18.3	△ 44.0	△ 41.6	△ 9.0	△ 35.2
受注残	7月～9月実績	△ 37.7	△ 45.1	***	***	***	△ 27.2	***
	10月～12月予想	△ 30.2	△ 45.1	***	***	***	△ 9.0	***
施工高	7月～9月実績	△ 36.4	***	***	***	***	△ 36.3	***
	10月～12月予想	4.5	***	***	***	***	4.5	***
収益	7月～9月実績	△ 36.7	△ 35.4	△ 28.3	△ 36.0	△ 51.6	△ 31.8	△ 23.5
	10月～12月予想	△ 27.9	△ 35.4	△ 13.3	△ 44.0	△ 45.0	0.0	△ 17.6
販売価格	7月～9月実績	△ 7.0	△ 12.9	5.0	0.0	△ 20.0	△ 4.5	△ 5.8
	10月～12月予想	△ 8.0	△ 9.6	6.6	△ 12.0	△ 22.2	△ 9.0	△ 11.7
仕入価格	7月～9月実績	3.7	3.2	10.0	0.0	△ 1.6	9.0	0.0
	10月～12月予想	0.9	△ 3.2	10.0	△ 8.0	△ 1.6	4.5	△ 5.8
在庫	7月～9月実績	△ 0.6	6.4	0.0	0.0	***	△ 9.0	△ 5.8
	10月～12月予想	△ 5.2	0.0	△ 3.3	△ 8.0	***	△ 9.0	△ 11.7
資金繰り	7月～9月実績	△ 26.0	△ 35.4	△ 16.6	△ 16.0	△ 48.3	△ 4.5	△ 5.8
	10月～12月予想	△ 24.2	△ 38.7	△ 18.3	△ 24.0	△ 36.6	4.5	△ 11.7
残業時間	7月～9月実績	△ 20.6	△ 38.7	△ 11.8	△ 8.0	△ 31.6	△ 9.0	△ 11.7
	10月～12月予想	△ 2.8	3.2	△ 10.0	0.0	5.0	△ 9.0	△ 11.7
人手状況	7月～9月実績	△ 17.2	△ 19.3	△ 8.3	△ 4.0	△ 33.3	△ 13.6	△ 11.7
	10月～12月予想	△ 6.0	0.0	△ 11.6	△ 4.0	1.6	△ 18.1	△ 11.7

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	7月～9月実績	△ 60.4	△ 75.0	△ 65.3	△ 33.3	△ 82.1	0.0	0.0
	10月～12月予想	△ 63.7	△ 81.2	△ 57.6	△ 66.6	△ 78.5	△ 20.0	△ 14.2
売上	7月～9月実績	△ 35.2	△ 18.7	△ 53.8	11.1	△ 53.5	20.0	△ 28.5
	10月～12月予想	△ 33.0	△ 25.0	△ 38.4	△ 44.4	△ 42.8	20.0	△ 14.2
受注残	7月～9月実績	△ 19.0	△ 31.2	***	***	***	20.0	***
	10月～12月予想	△ 33.3	△ 43.7	***	***	***	0.0	***
施工高	7月～9月実績	20.0	***	***	***	***	20.0	***
	10月～12月予想	40.0	***	***	***	***	40.0	***
収益	7月～9月実績	△ 31.9	△ 18.7	△ 50.0	11.1	△ 53.5	0.0	14.2
	10月～12月予想	△ 28.6	△ 31.2	△ 23.0	△ 44.4	△ 42.8	0.0	14.2
販売価格	7月～9月実績	△ 4.4	△ 6.2	11.5	0.0	△ 28.5	20.0	14.2
	10月～12月予想	△ 5.5	0.0	11.5	0.0	△ 28.5	0.0	0.0
仕入価格	7月～9月実績	5.5	0.0	11.5	0.0	3.5	0.0	14.2
	10月～12月予想	1.1	0.0	3.8	11.1	△ 3.5	0.0	0.0
在庫	7月～9月実績	△ 1.6	0.0	△ 11.5	33.3	***	0.0	△ 14.2
	10月～12月予想	△ 6.3	0.0	△ 15.3	11.1	***	0.0	△ 14.2
資金繰り	7月～9月実績	△ 33.0	△ 37.5	△ 30.7	22.2	△ 64.2	0.0	0.0
	10月～12月予想	△ 28.6	△ 37.5	△ 30.7	11.1	△ 46.4	0.0	0.0
残業時間	7月～9月実績	△ 31.9	△ 37.5	△ 19.2	△ 11.1	△ 50.0	△ 20.0	△ 28.5
	10月～12月予想	2.2	18.7	△ 19.2	0.0	17.8	0.0	△ 14.2
人手状況	7月～9月実績	△ 30.8	△ 31.2	△ 19.2	△ 11.1	△ 50.0	△ 20.0	△ 28.5
	10月～12月予想	△ 1.1	12.5	△ 19.2	△ 11.1	14.2	0.0	△ 14.2

大分地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	7月～9月実績	△ 43.4	△ 40.0	△ 23.0	△ 70.0	△ 59.2	△ 33.3	△ 33.3
	10月～12月予想	△ 47.0	△ 60.0	△ 23.0	△ 70.0	△ 66.6	△ 33.3	△ 33.3
売上	7月～9月実績	△ 35.7	△ 40.0	△ 15.3	△ 70.0	△ 39.2	△ 44.4	△ 33.3
	10月～12月予想	△ 22.6	△ 60.0	3.8	△ 40.0	△ 32.1	△ 33.3	△ 16.6
受注残	7月～9月実績	△ 35.7	△ 40.0	***	***	***	△ 33.3	***
	10月～12月予想	△ 35.7	△ 60.0	***	***	***	△ 22.2	***
施工高	7月～9月実績	△ 55.6	***	***	***	***	△ 55.5	***
	10月～12月予想	△ 11.1	***	***	***	***	△ 11.1	***
収益	7月～9月実績	△ 35.7	△ 40.0	△ 15.3	△ 70.0	△ 46.4	△ 33.3	△ 16.6
	10月～12月予想	△ 23.8	△ 60.0	△ 3.8	△ 40.0	△ 39.2	△ 11.1	0.0
販売価格	7月～9月実績	△ 7.1	△ 20.0	0.0	△ 10.0	△ 14.2	0.0	0.0
	10月～12月予想	△ 5.9	△ 20.0	3.8	△ 30.0	△ 7.1	0.0	0.0
仕入価格	7月～9月実績	3.6	0.0	11.5	△ 10.0	△ 7.1	33.3	0.0
	10月～12月予想	6.0	0.0	19.2	△ 30.0	3.5	22.2	0.0
在庫	7月～9月実績	0.0	20.0	7.6	△ 30.0	***	0.0	0.0
	10月～12月予想	△ 5.4	0.0	3.8	△ 30.0	***	0.0	△ 16.6
資金繰り	7月～9月実績	△ 25.0	△ 40.0	△ 7.6	△ 60.0	△ 35.7	0.0	△ 16.6
	10月～12月予想	△ 23.8	△ 40.0	△ 11.5	△ 70.0	△ 25.0	0.0	△ 16.6
残業時間	7月～9月実績	△ 14.5	△ 60.0	△ 8.0	△ 10.0	△ 17.8	△ 11.1	0.0
	10月～12月予想	△ 3.8	△ 60.0	3.8	0.0	△ 3.5	0.0	△ 16.6
人手状況	7月～9月実績	△ 13.1	△ 60.0	△ 3.8	0.0	△ 17.8	△ 22.2	0.0
	10月～12月予想	△ 7.1	△ 60.0	0.0	0.0	△ 3.5	△ 11.1	△ 16.6

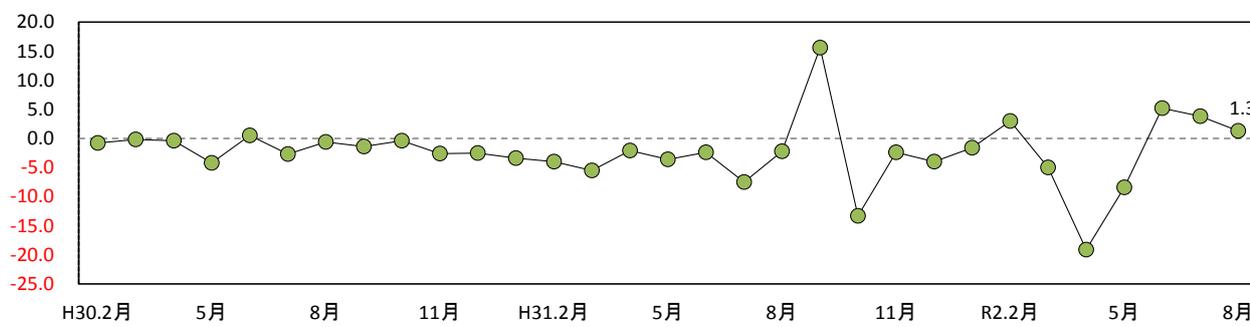
県北地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	7月～9月実績	△ 42.5	△ 60.0	0.0	△ 50.0	△ 75.0	△ 37.5	△ 50.0
	10月～12月予想	△ 50.0	△ 50.0	△ 12.5	△ 66.6	△ 75.0	△ 37.5	△ 100.0
売上	7月～9月実績	△ 50.0	△ 60.0	0.0	△ 50.0	△ 75.0	△ 50.0	△ 100.0
	10月～12月予想	△ 35.0	△ 10.0	△ 25.0	△ 50.0	△ 100.0	0.0	△ 100.0
受注残	7月～9月実績	△ 61.1	△ 70.0	***	***	***	△ 50.0	***
	10月～12月予想	△ 22.2	△ 40.0	***	***	***	0.0	***
施工高	7月～9月実績	△ 50.0	***	***	***	***	△ 50.0	***
	10月～12月予想	0.0	***	***	***	***	0.0	***
収益	7月～9月実績	△ 50.0	△ 60.0	0.0	△ 50.0	△ 75.0	△ 50.0	△ 100.0
	10月～12月予想	△ 35.0	△ 30.0	△ 12.5	△ 50.0	△ 100.0	12.5	△ 100.0
販売価格	7月～9月実績	△ 12.5	△ 20.0	0.0	16.6	0.0	△ 25.0	△ 50.0
	10月～12月予想	△ 17.5	△ 20.0	0.0	0.0	△ 25.0	△ 25.0	△ 50.0
仕入価格	7月～9月実績	0.0	10.0	0.0	16.6	0.0	△ 12.5	△ 25.0
	10月～12月予想	△ 10.0	△ 10.0	0.0	0.0	△ 25.0	△ 12.5	△ 25.0
在庫	7月～9月実績	0.0	10.0	12.5	0.0	***	△ 25.0	0.0
	10月～12月予想	△ 2.8	0.0	12.5	0.0	***	△ 25.0	0.0
資金繰り	7月～9月実績	△ 12.5	△ 30.0	0.0	0.0	△ 25.0	△ 12.5	0.0
	10月～12月予想	△ 15.0	△ 40.0	0.0	0.0	△ 50.0	12.5	△ 25.0
残業時間	7月～9月実績	△ 7.5	△ 30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10月～12月予想	△ 10.0	10.0	△ 25.0	0.0	△ 25.0	△ 25.0	0.0
人手状況	7月～9月実績	5.0	20.0	12.5	0.0	△ 25.0	0.0	0.0
	10月～12月予想	△ 15.0	10.0	△ 25.0	0.0	△ 50.0	△ 37.5	0.0

県内大型小売店販売額

令和2年8月の大型小売店販売額は86億円で、前年同月比1.3%上昇となっています。品目別では、衣料品が前年同月比13.5%下降、飲食料品が6.0%上昇、その他の商品が6.6%上昇となっています。

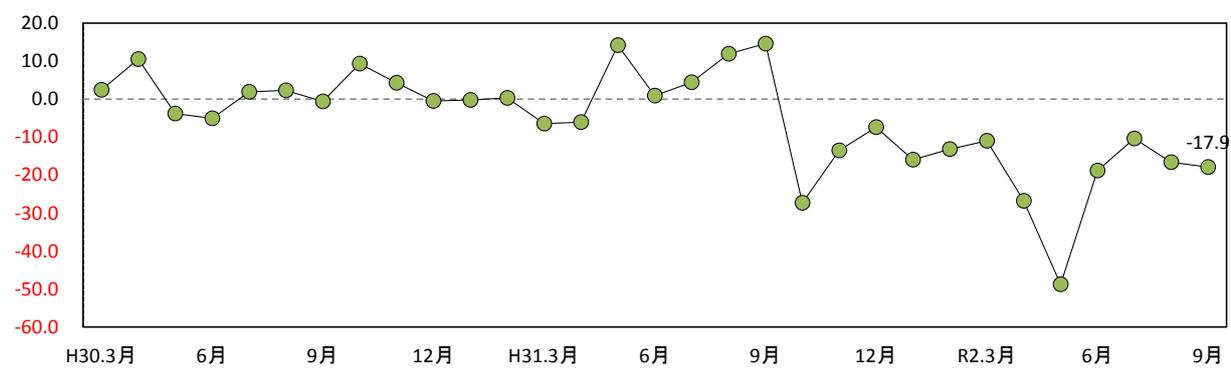
(%) 大型小売店販売額(前年同月比) (店舗調整前:経済産業省)



県内新車販売台数

令和2年9月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)4,688台で前年同月を17.9%下回りました。車種別では、普通乗用車が1,165台で前年同月比21.5%減、小型乗用車が997台で前年同月比12.5%減となりました。また、軽四輪車の合計は2,210台で前年同月比18.8%減となりました。

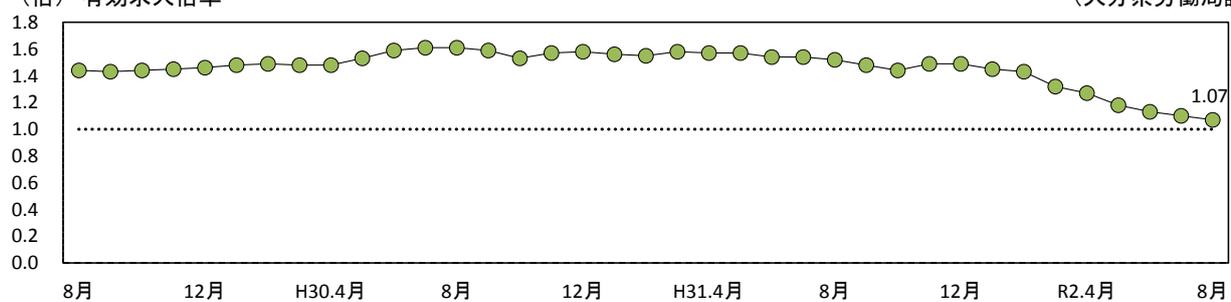
(%) 新車販売台数(前年同月比) (日本自動車販売協会連合会大分県支部調)



県内有効求人倍率

令和2年8月の有効求人倍率は、前月を0.03ポイント下回る1.07倍となりました。地域別で見ると、大分管内1.20倍(前月比-0.06ポイント)、別府管内0.72倍(前月比+0.01ポイント)、中津管内1.09倍(前月比±0.00ポイント)となっています。

(倍) 有効求人倍率 (大分県労働局調)

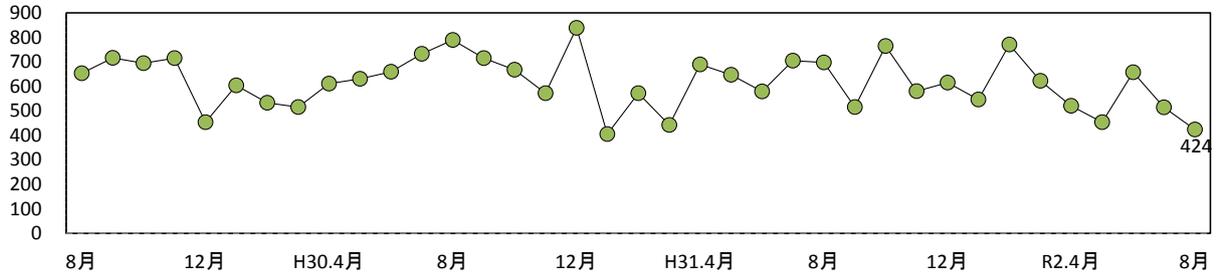


県内新設住宅着工戸数

令和2年8月の住宅着工戸数は424戸でした。そのうち、持家は212戸、貸家は150戸、分譲住宅は48戸となっています。

(戸) 大分県新設住宅着工戸数

(国土交通省調)



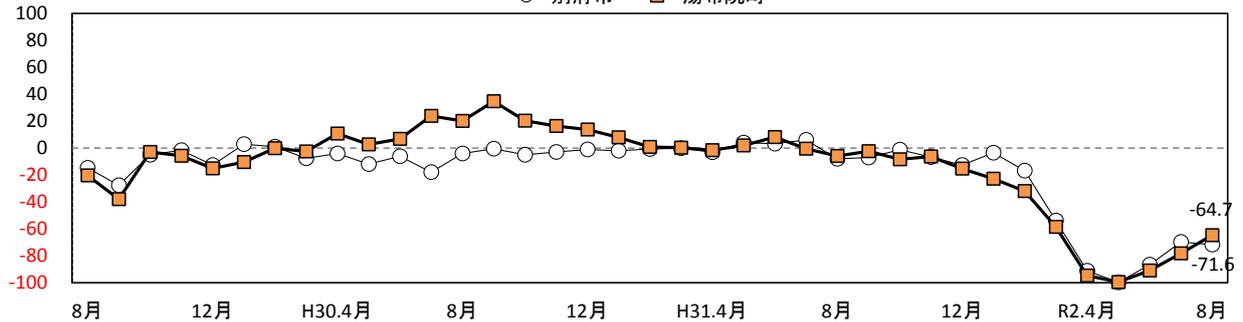
観光動向

令和2年8月の前年同月比宿泊人員データは、別府地区28.4%、湯布院地区35.3%となっています。

(%) 宿泊人員(前年同月比)

○ 別府市 □ 湯布院町

(当金庫調)



企業倒産状況

東京商工リサーチ大分支店の調査によると、令和2年9月の県内の企業倒産件数は6件で472百万円でした。令和2年の累計は41件4,913百万円となっています。

(百万円) 企業倒産

金額

件数

東京商工リサーチ大分支店調 (件数)

